

福島ひまわり里親プロジェクト

ひまわり新聞

21

きみと
ずっと
なかよし



©はらまうこ

「きずな」とは「きみとずっとなかよし」福島県の吉成洋拍さんの言葉です。
いつでも、どんなときも、これからも、あなたのことを想っているよという
こころに寄り添う愛のメッセージです

【特集】

記憶を次の世代へ

ひまわり防災検定

福島ひまわり里親プロジェクト 2023年の軌跡／全国の皆様から届いた種は…／福島から全国へ！お互いさまの街ふくしまって？
／設立から2年！コミュニティフリッジひまわり／トルコ・地震支援／いわき市台風豪雨災害支援／福島県内 種の寄贈先紹介／
モリタロウ祭で防災をかんガエル／オンラインショップからのお知らせ／きずなの記録／チームふくしま事業方針

記憶を次の世代へ

ひまわり 防災検定



2024年3月11日、東日本大震災発生から丸13年を迎えました。皆様にとってどのような13年だったでしょうか。震災の事実と、そこから得られた教訓、震災があったからこそ輝いた福島はじめ全国のみなさんとの活動。これらのことを次の世代へと引き継いでいく責任が私達たちにはあります。そのためにはまず、事実を受けとめ、知らなくてはなりません。

そんな思いから、チームふくしまでは2021年夏から、震災の教訓を活かし震災の記憶をつなぐために生まれた防災・減災に向けた日本初のライセンス「ひまわり防災検定」を実施しています。2022年3月11日に検定制度を開始し、2023年11月時点で約940人の方に受講いただきました。受検者の皆様には、「ワークシートを活用しながら、防災のために何を準備するのかを受検者同士で話し合ったことで、自分一人では気づけなかった部分に気づけました」「今回のご縁が、災害に『だけ』と限定せず、いつか、どこかで、何かのときに前に進む力になれば

と考えています」などのご感想をいただきました。誠にありがとうございます。

内容は、講座とワークショップで構成され、3級から1級まであり、3級は全国各地で「知る」、2級は福島県内で「気づく」、1級は被災3県を巡って「行動する」という目標を定めています。

本検定については、内閣官房の進める地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりを目指す取り組みである「国土強靱化 民間の取組事例集」にも記載されました。また試験官は福祉作業所の障がいのある皆様にお願ひし、障がいの者の皆様の所得向上にも繋げています。

大切な命を守る防災・減災の意識と教訓が後世に語り継がれ、日本中に広がってほしいという願いを多くの方々にも共有していただきたく、引き続き受検される方を募集しています。防災検定について、お申し込みなどの詳細は、次ページのQRコードよりお願い致します。



検定の様子



各種教育

- キャリア教育
- 防災教育
- 危機管理教育
- 花育
- 福祉教育
- 環境教育

被災地支援

- 観光支援
- 震災の風化対策



なぜ福島の人
はひまわりの種を
植えるのか？

回答を動画でチェック ▶





【特集】
記憶を次の世代へ
ひまわり防災検定 1

福島ひまわり里親プロジェクト
2023年の軌跡 3

全国の皆様から届いた種は… 6

福島から全国へ！
お互いさまの街ふくしまって？ 7

設立から2年！
コミュニティフリッジひまわり 9

【災害支援】
トルコ・地震支援
いわき市台風豪雨災害支援 10

福島県内・種の寄贈先紹介 11

モリタロウ祭で
防災をかんガエル 11

オンラインショップからの
お知らせ 12

きずなの記録 13

チームふくしま事業方針 裏表紙



- ① 修学旅行の一環でご参加くださった鈴鹿高等学校様の様子。
- ② オンライン受検の様子。
- ③ 佐賀県西唐津市の中学校にて。
- ④ 修学旅行の一環として真剣に取り組まれている様子。
- ⑤ 3級は対面とオンラインのハイブリッド形式も可能です。
- ⑥ 広島の皆さん。熱心に話されています。
- ⑦ 京都府宇治市立西中学校の皆さん。
- ⑧ 唐津市立西唐津中学校様の様子。

ひまわり防災検定 申込受付中!

(現在は3級のみ)

3級受検の流れ

- ① 講座
- ② 試験
- ③ ワークショップ

受験費用

3,500円/人

所要時間

50分～90分程度
(要相談)

申し込み方法

申込書にご記入の上、
郵送またはFAXで
ご連絡ください。



ひまわり防災検定の詳細は

跡

2023



司会の大和田紗希さん、
みず穂さん姉妹



宣誓されたみず穂さん



シリア出身作曲家 歌手 マアン・マリさん
シンガーソングライター YATCH さん



シリア人ジャーナリスト
ナジーフ・エルカシムさん



山木屋太鼓さん

第10回 ひまわり 甲子園



— 2年ぶり対面での開催! —

3月11日

毎年恒例の「ひまわり甲子園」は2023年3月11日、富岡町・学びの森で、オンラインと対面形式のハイブリッドで開かれました。新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に中断していた対面形式も復活、3年ぶりに全国から里親さんが集まって、感動を共有する大会になりました。「ひまわり甲子園」常連の山木屋太鼓による圧巻のパフォーマンスで開幕。続いて、全国各地から集まった発表者による、取り組みの内容と、そこから得た学び、福島への熱い想いが次々に報告されました。参加者も発表者も、「福島ひまわり里親プロジェクト」の大きな可能性と未来への希望を共有し、会場は感動に包まれました。

想いの種（たすき）を次の世代に



～未来に向かって咲くひまわり～



高森町立高森南小学校
6年3組
(長野県)

ウォークラリーを実施してくださいました。ビデオレターから福島への熱い想いが伝わって、ひまわり畑に。



茨城県立
竜ヶ崎南高等学校
(茨城県)

ふくひまを通じてできた絆を形にするための福島市、二本松市、竜ヶ崎市の“絆”カルタの作成をしてくださいました。



筑波大学
松井新さん
(茨城県)

シリアやドバイなどに足を運んだ福島市出身の松井さんは、シリアの難民キャンプへの支援は、「東北にしかできないプロジェクト」だとお話されました。



学校法人菊武学園
菊華高等学校 保育・福祉コース
(愛知県)

手作り絵本作成の他、毎日の水やりが認知症の方への対策になったことを発表してくださいました。



愛知学泉大学
ライフスタイル学科
(愛知県)

ひまわりの花弁から染色したウエディングドレスなどの制作を通じた、自分たちなりの福島への支援の仕方を発表してくださいました。



関西大学社会学部
米澤啓介さん
(大阪府)

3.11以降の日本社会を考えることをテーマに、チームふくしまやふくひまを通して得た知見を卒業論文にまとめ、その要旨を報告してくださいました。



NPO法人チームふくしま
副理事長兼事務局長 清野巽さん
(福島県)

プロジェクトへの想いと、7年間働いて学んだこと、ありがとうという感謝の言葉の大切さについてお話してくださいました。



福島学院大学短期大学部
保育学科 山田沙也加さん
(福島県)

プロジェクトを通して得たご縁への感謝を述べられました。現在はチームふくしま事務局で働かれています。

ぜひ引き続き、福島ひまわり里親プロジェクトを通じて得た学びと想いを持続させ、周りの人々や次の世代へと繋いでいきましょう！きっかけは学校の授業でも、お知り合いの紹介でも、何でも構いません。あなたのためになることが、日本のためになります！あなたのためになることが、次世代のためになっていきます！全国の仲間とともにひまわりを育て、日本に優しい笑顔の花を咲かせていきましょう。

軌

5月3日 ひまわり種まき会

田村市の佐久間辰一先生のお宅で、ひまわりの種まき会が開かれました。快晴のもと、約3万粒の種を植えました。佐久間先生をはじめ、牧野ひまわり会の皆様、福島大学の学生や子どもたちまで老若男女約50人にご参加いただきました。種を一粒一粒まいた後は、イベントを実施。福島大学の学生による宇宙ひまわりの植ええや、太鼓の演奏、コーラス、ダンスなど大盛り上がりでした。



6月4日 ひまわり苗植え会

種まきから1ヵ月、5~10cmほどの大きさに育った苗を、田村市のひまわり畑に植えました。参加者は、畑に入って苗を自分の手で植えながら、ひまわりの生命力を感じていました。宇宙ひまわりの苗植えも、種まきと同様に、福島大学の学生によって行われました。約70人にお集まりいただき、楽しく交流しながら苗植えをすることができました。



—Happy Wedding—

8月15日 ひまわり結婚式

種満開に咲き誇ったひまわりの花々の中で、ひまわり結婚式が始まると、直前まで降っていた雨は止み、太陽が顔を覗かせました。新郎新婦の金澤次郎さん・さつきさん夫妻、海老沼康秀さん・美鈴さん夫妻の2組の晴れ姿に、会場が幸せな雰囲気になりました。田村市の語り部の宗像さん、Breathing BUDSさん、福島美少女図鑑の皆さんによる余興もありました。インターン生6名も準備と運営に大活躍。流しそうめんも復活し、会場には笑顔があふれました。



全国の里親のみなさん いつもありがとうございます ございます！

一部、ご紹介させていただきます



▲立命館中学校・高等学校
清田先生

◀三重県の里親さん
山際様



ABS 秋田放送 様



愛知県
安城学園
高等学校 様



NTT 東日本 様
大宮アルディージャ 様



岐阜県
青年のつどい
協議会 様



長岡町立
山古志中学校 様



成田市立
西中学校 様



広島県の子ども食堂に
ひまわりカレーが！



今年したくさんのひまわりが咲きました

静岡県
ひだまり保育園
hagu 様



愛知県
安城学園
高等学校 様



愛知県
国風第二幼稚園 様



マックスパリュウ東海
株式会社 様

▼作業場の様子



なごみ
和さん

- ※県外の方向け種の袋詰め
- ※商品発送
- ※タグ作り
- ※搾油



全国の皆様から届いた種は……
福祉作業所の皆様のお志事になります！

作業所の皆様、いつも丁寧な作業で、プロジェクトを支えて下さってありがとうございます。
プロジェクト運営に欠かすことのできない、大切なパートナーです。



全国からの種は
福島県内に
寄贈されます！



ほっとライフさん

※県内種の袋詰め



菊の里さん

※バイオディーゼル燃料



県内の種からの油は
福島交通バスの燃料に
なります！



葛尾村・遠藤様
素敵なお写真
ありがとうございます！



福島から全国へ！

お互いさまの街 ふくしまって？

全国に広まる「お互いさまチケット」とは!?

お近くの お互いさまチケット使ってみよう！



皆さん、「お互いさまチケット」をご存じですか？このチケットは、「ペイフォワード」の恩を送っておく、「恩送り」のチケットのことで、飲食店などで、後から来る見知らぬ誰かが無料で食事ができるように、別の誰かがその見知らぬ人のために食事代金を先払いしてくれるチケットです。これが「お互いさまチケット」の仕組みです。

このチケットは、他の誰かが先払いしてくれた代金分の物やサービスを、別の人が無料で受け取ることができる、人と人の優しさを繋げることができるチケット。

例えば、「おなががすいているけれどお金を持っている」という時、このチケットのあるお店に行くとチケットを使えば、無料で食事ができます。

「えー？なんで無料？」と驚いたかもしれませんが、でも、このお互いさまチケットには「困ったときはお互いさま」という誰かの優しさが「恩送り」されているので心配はいりません。安心して無料で食事を楽しんでください。

この仕組みは、チームふくしま副理事長だった故・吉成洋拍さんが、貧困で子どもたちが困っている現状を聞いたことがきっかけで、「何かできることはないか？」と発案して誕生した、福島発祥の「恩送り」の活動です。

「お互いさまチケット」が置いてある店舗や施設は、飲食店にとどまらず、タイヤ交換や幼児保育などのサービスにも拡大しています。さらに福島だけでなく、広島県の「たまわにのBIB」や、石川県の「ゴーゴーカレー金沢本店」、京都府の「のぞみ整骨院」など、全国各地のさまざまな店舗や事業所で取り入れられ2024年1月時点で福島県内41箇所、全国13箇所、合計54箇所まで拡大しました。吉成さんが目指した「福島市内100か所でお互いさまチケットを導入し、福島市をお互いさまの街にする」という計画が、吉成さん亡き後も着々と仲間たちの手で広がっています。温かな絆づくりへ、思いやりの心で「お互いさまチケット」を始めませんか？

お互いさまの街ふくしまは三本立て

お互いさまチケット



すべてはここから！
0円バーガー動画



お互いさま倉庫

今年1月、東北少年院の在院者の方から寄贈されたものです。



登録不要で誰でも自由にものを置いたり持って行ったりできます！
・BLTカフェ
・くつろぎ納屋森のキッチン

お互いさまアート



福島市の整体院縁さんでポストカードを購入すると、収益の一部が子ども食堂へ寄付されます！可愛い絵とセンスある文章にほっこり。



2024年1月時点で
福島県内 41箇所
全国に 13箇所
合計 54か所
導入されています。



福島市

- ・HAPPYHAPPYCURRY (飲食店)
- ・BLT カフェ (飲食店)
- ・まちなか夢工房 (飲食店)
- ・あとろえ・悠然 (花屋)
- ・サンパワー WORLD GARAGE 福島鎌田店 (タイヤ交換)
- ・NPO 法人子ども緊急サポート福島 (乳幼児保育)
- ・たすパン (飲食店)
- ・美容室びいす (美容院)
- ・よつ葉のクローバー FARMERSGARDEN (飲食店)
- ・DININGCafe&Bar 創作料理や Mother's KITCHEN (飲食店)
- ・採用と教育研究所 (相談)
- ・NPO 法人はーぐる (妊娠中絶)

郡山市

- ・農家ピザくまのグラッチェ (チケットがたまるとピザづくり体験も!) (飲食店)
- ・肉と野菜の農家イタリアン Arigato (飲食店)

二本松市

- ・なごみの店 (飲食)

伊達市

- ・新生・佐藤農園 (野菜)

いわき市

- ・愛一step (飲食)

全国に広まる「お互いさまチケット」の輪



宮城県登米市

- ・グリムの森 (飲食店)

宮城県仙台市

- ・imamo ファーム (飲食店)

栃木県宇都宮市

- ・寿限無餃子×フードバンクうつのみや (飲食店)

長野県伊那市

- ・伊那まち BASE (飲食店)

静岡県静岡市

- ・アローズラボ マークイズ静岡 (子ども運動支援)

石川県金沢市

- ・ゴーゴーカレー金沢本店 (飲食店)

京都府宇治市

- ・のぞみ整骨院 (産後骨盤矯正)

広島県広島市

- ・たまわにカフェ (飲食店)
- ・ALLSON (飲食店)
- ・シェアカフェ Maaru (飲食店)
- ・DNA beauty salon (飲食店)
- ・セルクレージュ (エステ)



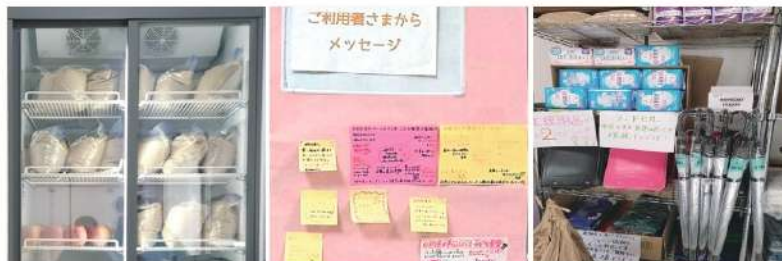
お互いさまの街ふくしま
Youtube チャンネル



設立から2年！ コミュニティフリッジ ひまわり



YouTube 動画は
こちらから ↓



2022年に開設した「コミュニティフリッジひまわり」。コミュニティフリッジとは、「地域コミュニティが共有する冷蔵庫（フリッジ）」といった意味で、食料品や日用品の支援を必要としている方々が人目を気にすることなく、支援を受けられる施設です。無人の冷蔵庫や棚を設置し、必要な人は自由に食料・日用品を持つていくことができます。食品ロス削減や困窮者支援のために、欧米で広がった取り組みがモデルになっています。

開設から2年以上が経過した2024年3月現在、約100世帯、約400人の方々が利用しています。2023年は全国から多くの方々が視察にお越しくださいました。誠にありがとうございました。

寄付者の皆様、そして「コミュニティフリッジひまわり」の冷蔵庫や物品棚などの設置場所をお貸しいただいている「株式会社いちい」様、物品搬入や掃除などをしてくださっている

る作業所の皆様に、改めて深く感謝を申し上げます。寄付者の皆様の温かいメッセージもフリッジ内に掲示させていただいております。

現在、食料品や日用品は、フリッジ内に配置した直後から、利用者の方々にご利用いただき、すぐになくなってしまおうという状況にあります。「お弁当を入れました」というメールを見て来られた利用者の方々が行列になっていたたり、「お一人何点まで」などの注意書きを守らない方も散見されます。

それほど経済的に厳しい方々が福島市内にいらっしやるといふ現実を痛感させられます。物価高のため、買い物がしにくい現状に困っている人たちがいます。食料や物を大切にすることを忘れないとともに、今後とも「困ったときはお互いさま」の心を持ち、継続的な支援のご協力をお願いいたします。



フリッジ利用者の皆様のお声 (一部抜粋)

(ノートに要望や感想を記入していただき改善しております)

- ・いつも、たくさんのごきぶをありがとうございます
- ・たいへん、助かっております
- ・お米助かります。お弁当嬉しいです。
- ・Thank you!! オイシイ!!
- ・子供の喜ぶ顔がうれしいです。ありがとうございます。
- ・お米をいただきに来ましたが何もなくて(涙)
それだけ沢山の方々が大変なのですね。来週あると良いな
- ・いつもありがとうございます。お食事いただけただので、今日の夜はゆっくりできます!!

備えられているもの (常時変動)

- ・食料 (お米、もち、野菜、果物、麺、調味料、お菓子など)
- ・日用品 (子ども用衣服、生理用品、洗剤など)
- ・その他 (ランドセル、ヘアゴム、メジャー、ぬいぐるみなど)



ふくしまから世界へ！ チームふくしまの災害支援



トルコ・シリア地震支援

弊法人では、東日本大震災の際にシリアの皆様から頂いた優しさを返そうと、金銭的支援や支援物資を募り、全国から総額 560 万円の募金と数々の物資をシリア人ジャーナリストのナジブ・エルカシュさんを通じて、シリアの現地へ送らせていただきました。ご支援いただいた皆様、誠にありがとうございました。こうした相互の支援は、東日本大震災があったからこそ生まれた出来事であり、お互いに気づかされた優しさです。人と人との絆に国境はありません。お互いさまの気持ちを変わらず持ち続けていきましょう。

今、同じ時間を、紛争が起きている中、命がけで暮らしている人がいます。遠い土地の話だからと言って見ないふりをしてよいのでしょうか。まず、できることから始めてみませんか。



6月24日 読売新聞 掲載



いわき市台風豪雨災害支援

9月8日、台風13号とその後の熱帯低気圧による豪雨で、いわき市では甚大な被害が発生しました。被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。、残念ながらお亡くなりになられた皆様とご家族の皆様、心よりお悔やみとご冥福を申し上げます。

日ごろから「福島ひまわり里親プロジェクト」を応援していただき、「コミュニティフリッジひまわり」を活用されている方の中にも、ご自宅が浸水被害に遭われた方がいらっしゃいました。これら災害の被災者の方のために、支援金の募集も行い、10月5日、特定非営利活動法人ほっと悠といわき市在住の支援者へ、贈呈しました。多くの方々にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

困ったときはお互いさま。この言葉は災害時のような非常時によく言われます。災害が起こることは避けられません。災害に備えながら、人と人との絆で乗り越え、生活環境をできるだけ早く復旧すべく、今後とも温かな気持ちと協力と支援の輪を大切にしていきたいと思えます。



浜通り

- ・浪江町役場
- ・いわき市立湯本第二中学校
- ・有限会社アド・プロ広芸社
- ・川内村モリタロウ祭り実行委員会

中通り

- ・NPO 法人うつくしまスポーツルーターズ
- ・NPO 法人ルワンダの教育を考える会
- ・月電工業株式会社、
- ・ZENOAQ 日本全業工業株式会社
- ・あとリエ・悠然
- ・サービス付き高齢者住宅向け住宅ひだまり
- ・ふくしま子ども食堂ネットワーク
- ・株式会社アディカ、
- ・株式会社ケイリーパートナーズ
- ・株式会社東北村田製作所
- ・株式会社デンソー福島
- ・株式会社日ビス福島製造所
- ・国見町役場
- ・小野町役場
- ・新生・佐藤農園
- ・泉崎村立泉崎第一小学校
- ・損害保障ジャパン株式会社
- ・福島保険金サービス課
- ・棚倉町立棚倉中学校
- ・天栄村役場湯本支所
- ・田村市役所
- ・白河市立五箇中学校
- ・富士工業株式会社白河事業所
- ・福島スバル自動車株式会社
- ・牧野ひまわり会

会津

- ・金山町役場

福島県内 種の寄贈先紹介

(2023年1月～12月)



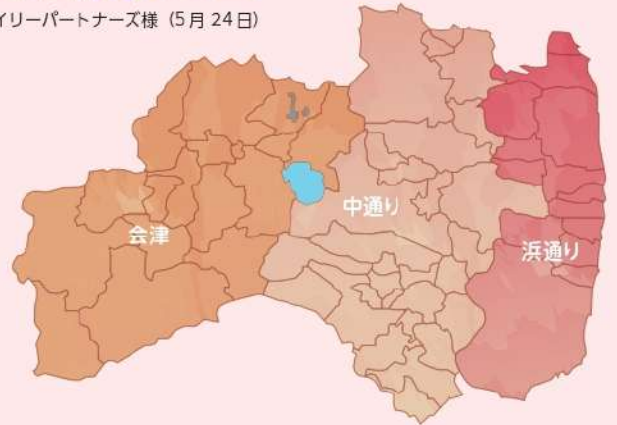
cafe ひらなが様 (5月8日)



株式会社ケイリーパートナーズ様 (5月24日)



田村市役所 田村市長 白石高司様 (5月17日)



川内村の
かっこいい
大人たちの
インタビュー
動画です！

モリタロウ祭で 防災をかんガエル



5月28日(日)、福島県川内村で開催されたモリタロウ祭でひまわりの種を配布させていただきました。モリタロウは川内村のキャラクターです。モリアオガエルが繁殖していることで国の天然記念物に指定されている平伏沼にちなみ作られ、村民から愛されています。会場はカエルにまつわるものを身に付けた人々が溢れていました。福島ひまわり里親プロジェクトのキャラクター・たびくまくんも参加いたしました。幅広い年代の方から大人気でしたが、特にたくさん子どもたちがたびくまくんを見つけ駆け寄ってきてくれました。カバンの中からひまわりの種を見つけ、喜んで持ち帰っていった姿はとても可愛らしかったです。ひまわりの種を受け取ってくださった皆様、誠にありがとうございました。

東日本大震災から12年がたった今、川内村の皆様はモリタロウをはじめ川内村への愛溢れるお祭りに参加させていただき、温かい気持ちになりました。一時は全村避難を義務付けられるも、今こうして村に戻って生活している皆様には並々ならぬ川内村への愛がありました。祭を楽しみながらも、震災の話をするときは真剣に当時は思い起こす村民の皆様のお姿が印象的でした。全村避難という経験が村への想い、村民同士のつながりを強くさせたのだと思います。必ずしも悪いことだけではなく、それを踏まえて何を選択して今をどう生きるかということを考えさせられた機会でした。

全村避難と聞くとき暗いイメージになってしまいがちです。しかし悪い側面だけではなく、だからこそ川内村の方々は村や他の村民の方を大事に思う心が強いのです。自分たちの村を、モリタロウを通じて盛り上げたいという皆様のお気持ちに大変共感いたしました。川内村やモリタロウに興味を持たれた方は、ぜひ川内村へ足を運んでみてください。

オンラインショップからの お知らせ



きずなの種セット
¥2,000

- ・きずなの種 10g (100粒相当)
- ・フラワータグ1枚
- ・説明書



きずなの種と絵本セット
¥3,000

- ・絵本「たびくまとひまわりばたけ」
- ・きずなの種 1g (10粒相当)
- ・オリジナル封筒 (種送付用)
- ・フラワータグ1枚
- ・説明書



SDGsボックス 1箱
¥20,000

- ・きずなの種 10粒 × 100袋 (オリジナルポチ袋入り)
- ・粒 1,000粒相当
- ・説明書



オリジナル切手
¥2,000

- ・きずなの種 10g (100粒相当)
- ・フラワータグ1枚
- ・説明書



きずなの種とコミックセット
¥3,000

- ・コミック「福島ひまわり里親プロジェクト物語」
- ・きずなの種 1g (種 10粒相当)
- ・フラワータグ1枚
- ・ひまわりの育て方、種の採り方説明書



ひまわりカレー
¥3,000

- ・レトルトカレー5箱入りセット
- ・保存期間、原材料等はオンラインショップでご確認ください。

福祉作業所の皆さんが搾油して下さったひまわり油入りです

作業所さんの他の商品もあります! 要チェック!



絵本 『ぼくのひまわりおじさん』 全6カ国語 翻訳!

今年度、新たにスペイン語・フィンランド語・ベトナム語翻訳をしていただきました。
ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。
絵本も好評発売中です。下記のQRコードより、朗読動画もご覧いただけます。

- ・発行元：文庫
- ・ISBN978-4-86113-861-4
- ・定価 1,650円 (税込)
- ・amazon.com または事務局で購入できます



にほんご
日本語



English
英語



ةيبرعلا ءغللا
アラビア語



Español
スペイン語



Suomen kieli
フィンランド語

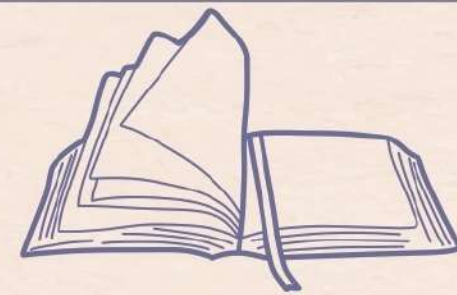


tiếng Việt
ベトナム語



Melayu
マレーシア語





— きずなの記録 —

— 福島ひまわり里親プロジェクト —

地域で種の販売とアピールを

ひまわり活動広がるCS

今年も各地のCSでひまわり種が販売され、地域で種を育てる活動が広がっている。...



CSでひまわり種を販売する様子

ひまわり甲子園 開催記念し看板

ステッカーに復興願う

ひまわり甲子園の開催を記念し、ステッカーに復興を願う。...



ひまわり甲子園の開催を記念し、ステッカーに復興を願う。...

福島民報 2023年8月11日 (金)

愛の誓いひまわりが祝福

田村の畑で2組結婚式

田村市大崎町野崎組の結婚式が行われ、ひまわり畑で2組の結婚式が行われた。...



ひまわり畑で結婚式を挙げた金沢さん夫婦（右）と海老沼さん夫婦（左）が笑顔で記念撮影をする様子

福島民報 2023年8月20日 (日)

東北に届けてみませんか

福島産のひまわり種、青い種、赤い種、黒い種、様々な種類のひまわり種を販売しています。...



日本海新聞 2023年9月4日 (月)

2023年9月4日 (月)



NPO法人チームふくしまの活動について。...

プライダル産業新聞 2023年9月11日 (月)



震災の記憶つなぐ大輪

震災の記憶をつなぐ大輪の活動について。...



中日新聞 2023年9月14日 (木)



復興、平和への願い 語らう

復興、平和への願いを語るイベントについて。...



中日新聞 2023年11月3日 (金)

洛タイ新報 2023年5月26日 (金)



成人式 晴れ姿事前撮影

成人式を前に晴れ姿を撮影する様子について。...

読売新聞 2023年11月8日 (水)

—コミュニティフリッジひまわり—



生活困窮者支援する
NPOに田舎から
福島のNPOがチケッ
「お互いさま」の
「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

福島民友 2023年5月12日(金)

—お互いさまの街 ふくしま—

引き継がれた点、「お互いさまの街」
「お互いさまの街」は、福島県内各地で展開されている社会福祉協議会（社協）の取り組みの一つ。この取り組みは、地域住民が互いに助け合い、支え合うことで、地域社会の持続可能な発展を目指すことを目的としている。

日本講演新聞 2023年8月5日(月)

NPOチームふくしま「お互いさまチケット」

広島の子ども食堂も導入

「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

福島民報 2023年6月17日(土)

美容室、誰かのために先払い

福島のNPOがチケット

売上金で食料支援も
「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

福島民友 2023年7月12日(水)

産谷の生花店、大世生の農園直営カフェ

「恩送り」チケット導入

NPO発広がる賛同

「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

福島民報 2023年7月28日(金)

恩を送り合う地域づくり提案

伊那まちBASE

「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

福島民報 2023年8月20日(日)

他人の代金先払い 差額で食事OK

「お互いさま」チケット

「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

洛タイ新報 2023年9月9日(土)

「恩送り」で幸せ広げて

福島の知人の遺志継ぐ「困ったときはお互い様」

「お互いさま」のチケッ
「お互いさま」のチケッ

北國新聞 2023年9月21日(木)

朝日新聞(京都市版) 2023年9月25日(月)



記憶を次の世代へ

ひまわり 防災検定



今年は元日から能登半島地震が起きました。
全国各地で防災・減災の意識が高まっています。
福島ひまわり里親プロジェクト独自の防災検定「ひまわり防災検定」を活用して、防災に向けた取り組みを進めていきませんか？

概要

- 開催場所：**全国各地（オンライン受験も可）
- 学べる分野：**キャリア教育、防災教育、危機管理教育、
花育共育、福祉教育、環境教育
- 用途：**企業研修、行政、修学旅行など
- 受験内容：**講座・ワークショップ
(3級はテスト無し)
- ・「福島ひまわり里親プロジェクト」について
 - ・震災時の出来事
 - ・防災への備え など

- 受験料：**一人 3,500 円 (税込)
(オンライン受講も同額)
- 申込方法：**申込書に必要事項を記載の上、
FAXまたは郵送にて申込

※3級はワークショップメインとなるため、
5人以上からのお申込み受付となります。



防災検定の想い

「もしも」よりも「いつも」
「連携」よりも「ともに」
「ルール規則」よりも「柔軟臨機応変」

南海トラフ地震・首都直下型地震による
津波・火災や自然災害・土砂災害など
大切な命、大切な人の命を守るため
学校と地域、行政と住民が「平時」から「有事」に備える

「終わりではなく、これからが始まり」
「教訓にはならなかった、と言わせない」
「過去は変えることができない、けれども、未来は変えられる」

関わるみなさんの想いが集まり
「ひまわり防災検定」のスタートとなりました。
大切な命を守る防災減災の意識と教訓が
後世に語り継がれ、日本中に広がって欲しい、という願いが込められています。
みんなひとりひとりがひまわり防災検定を通じて大切な人を大切な次世代を守りましょう。

